

男子・垂水が初優勝 県高校弓道

弓道の2011年度鹿児島県高校選手権最終日は18日、鹿児島市の県武道館で男子団体、個人戦があった。43校が出場した団体戦は垂水が初優勝。個人はたまた一人番中を続けた大嶺誠也(錦南)が2連覇を果たした。

団体1位、個人今位までが全国選抜大会(2012年3月23〜25日・岐阜)に出場する。

▽男子団体(6校) ①垂水 ②中 ③小嶺、小嶺、永田、豊田、川谷中(準) ④25中

▽個人(12校) ①大嶺誠也(錦南) ②中(準) ③永田(錦南) ④豊田(錦南) ⑤川谷中(準) ⑥25中

※団体3位は射撃個人会、3位は遠征による

努力実り全国切符

○：前日の女子同様、寒さと強風の悪条件の中、垂水が最後まで安定した射を続けて初優勝。全国選抜出場を射止めた。個人でも2位に入りダブル出場を決めた主将水瀬は「同じられない」と驚きを隠さない。



男子団体で初優勝した垂水

一県武道館

同級生「コーチは「練習熱心な、選手たちの努力のたまもの」と快挙をたたえた。

水瀬、小嶺、永田の主力3人は「弓を引く姿がカッコいい」と高校入学後、弓道を始めた。素直な3人を中心に「コーチらの指導でめきめき力をつけ、新チームになると天端地区入制大会で優勝を飾った。

自信を胸に臨んだ10月の県新人大会は、錦射で鳳凰に1中及び九州大会出場を逃した。以来、日曜から金曜まで1時間半の早朝練習を始めるなど射数を増やすと、安定感が増しの中率が上がった。この日も互いにミスや力パージながら着実に的中を重ね、伸び悩む

ジイバルを尻目に1中差で逃げきった。

宇田恒久監督は「立ち上がりは悪かった」と全国大会を前に注文を付ける。水瀬は「悔いの残らない試合をした」と抱負を述べた。